

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤギ
 コード番号 7460 URL <http://www.yaginet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 八木 秀夫
 (氏名) 三浦 明石

TEL 06-6266-7332

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 26,959 | 2.5 | 371 | △43.8 | 517 | △35.8 | 337 | △36.3 |
| 27年3月期第1四半期 | 26,310 | △12.1 | 660 | 126.3 | 805 | 13.2 | 529 | 31.5 |

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 807百万円 (42.4%) 27年3月期第1四半期 566百万円 (△18.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 40.14 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 63.02 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 59,743 | 51.5 | 30,745 | 51.5 | 30,745 | 51.5 |
| 27年3月期 | 59,679 | 50.8 | 30,319 | 50.8 | 30,319 | 50.8 |

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 30,741百万円 27年3月期 30,314百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 45.00 | 45.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 45.00 | 45.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 127,000 | 11.3 | 3,500 | 77.7 | 3,700 | 29.4 | 2,460 | 39.4 | 292.90 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 28年3月期1Q | 10,568,000 株 | 27年3月期 | 10,568,000 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 28年3月期1Q | 2,169,255 株 | 27年3月期 | 2,169,255 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年3月期1Q | 8,398,745 株 | 27年3月期1Q | 8,398,772 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成27年5月14日に公表いたしました連結業績予想について本資料において修正していません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則」に従い作成しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推し進める積極的な経済対策と日銀の金融緩和を受け、雇用環境の改善や輸出関連企業を中心に収益の改善が見られ、緩やかな回復基調が続きました。しかし、個人消費は、消費税率引き上げや輸入物価の上昇などで実質所得が伸び悩み、回復は緩慢なペースにとどまりました。一方で海外情勢は、米国では好調な経済を背景に利上げ時期を探る展開となり、中国では経済の減速がより鮮明となり、欧州はギリシャ金融危機を抱え、これらがわが国経済を下押しするリスクとなり楽観視できない状況にありました。

このような状況の下、当社グループでは中期経営計画「Value Innovation123」の二年目にあたり、重点施策である「中核事業の高収益化」「海外事業の拡大・新規事業の強化」「経営管理体制の高度化」を推進し、差別化商材の供給力を強化し、優良取引先との取り組み深耕に注力しました。また、香港を核にアセアンに縫製拠点を構築することで、繊維二次製品事業の拡大を目指すAGP（アセアン・ゲートウェイ・プロジェクト）と、タイを拠点にアセアンにテキスタイルの供給体制を確立するATC（アセアン・テキスタイル・コンバーティング）の両プロジェクトを進行させ海外事業の拡大に努めました。

しかしながら繊維業界として個人消費に改善がさほど見られないなか、中国における人件費上昇などによるコスト高に円安によるコスト上昇が重なり、当社グループは極めて厳しい経営環境におかれまして。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は26,959百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は371百万円（前年同期比43.8%減）、経常利益は517百万円（前年同期比35.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は337百万円（前年同期比36.3%減）となりました。

なお、事業セグメント別の売上高の状況は、以下のとおりであります。

| セグメントの名称 | 前第1四半期連結累計期間 平成27年3月期 百万円 | 当第1四半期連結累計期間 平成28年3月期 百万円 | 増減率 % |
|------------|---------------------------------|---------------------------------|----------|
| 繊維セグメント | | | |
| 原料分野 | 4,602 | 5,426 | 17.9 |
| テキスタイル分野 | 3,564 | 3,646 | 2.3 |
| 繊維二次製品分野 | 17,263 | 16,841 | △2.4 |
| その他 | 788 | 953 | 21.0 |
| 繊維セグメント 合計 | 26,217 | 26,868 | 2.5 |
| 不動産セグメント | 92 | 91 | △1.2 |
| 合計 | 26,310 | 26,959 | 2.5 |

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,032百万円減少し、43,990百万円となりました。これは、売掛債権が減少したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,097百万円増加し、15,753百万円となりました。これは、時価の上昇に伴い投資有価証券の時価評価差額が増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,020百万円減少し、20,578百万円となりました。これは、未払金(その他の流動負債)が減少したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ658百万円増加し、8,419百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ426百万円増加し、30,745百万円となりました。これは、時価の上昇に伴いその他有価証券評価差額金が増加されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（平成27年5月14日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,874,229 | 2,659,965 |
| 受取手形及び売掛金 | 29,436,115 | 28,405,281 |
| 電子記録債権 | 3,503,752 | 3,487,102 |
| 有価証券 | 93,478 | 93,481 |
| たな卸資産 | 7,055,402 | 6,882,120 |
| 繰延税金資産 | 605,012 | 625,797 |
| その他 | 1,601,073 | 1,989,937 |
| 貸倒引当金 | △146,201 | △153,492 |
| 流動資産合計 | 45,022,861 | 43,990,193 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,371,811 | 4,319,363 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,152,851 | 1,088,804 |
| その他 | 31,930 | 29,997 |
| 無形固定資産合計 | 1,184,782 | 1,118,801 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,844,377 | 8,004,101 |
| その他 | 3,168,548 | 3,244,097 |
| 貸倒引当金 | △913,282 | △933,036 |
| 投資その他の資産合計 | 9,099,644 | 10,315,162 |
| 固定資産合計 | 14,656,237 | 15,753,328 |
| 資産合計 | 59,679,099 | 59,743,521 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,461,469 | 11,542,249 |
| 電子記録債務 | 751,151 | 749,433 |
| 短期借入金 | 3,601,930 | 3,918,536 |
| 未払法人税等 | 670,440 | 197,656 |
| 賞与引当金 | 462,507 | 707,675 |
| その他の引当金 | 250,034 | 188,827 |
| その他 | 4,401,848 | 3,274,159 |
| 流動負債合計 | 21,599,381 | 20,578,537 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,347,870 | 4,760,722 |
| 繰延税金負債 | 1,021,210 | 1,262,139 |
| 引当金 | 66,341 | 66,325 |
| 退職給付に係る負債 | 933,601 | 927,964 |
| その他 | 1,391,529 | 1,401,923 |
| 固定負債合計 | 7,760,552 | 8,419,074 |
| 負債合計 | 29,359,934 | 28,997,611 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,088,000 | 1,088,000 |
| 資本剰余金 | 805,188 | 805,188 |
| 利益剰余金 | 27,179,565 | 27,136,218 |
| 自己株式 | △1,629,445 | △1,629,445 |
| 株主資本合計 | 27,443,308 | 27,399,961 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,425,889 | 2,919,926 |
| 繰延ヘッジ損益 | 283,304 | 244,039 |
| 為替換算調整勘定 | 31,607 | 30,899 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 130,459 | 146,450 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,871,261 | 3,341,317 |
| 非支配株主持分 | 4,595 | 4,631 |
| 純資産合計 | 30,319,165 | 30,745,910 |
| 負債純資産合計 | 59,679,099 | 59,743,521 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 26,310,414 | 26,959,364 |
| 売上原価 | 23,137,790 | 23,880,549 |
| 売上総利益 | 3,172,623 | 3,078,815 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,512,038 | 2,707,478 |
| 営業利益 | 660,585 | 371,336 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,735 | 3,226 |
| 受取配当金 | 68,516 | 70,226 |
| 為替差益 | 27,032 | 61,859 |
| 持分法による投資利益 | 46,638 | 38,757 |
| その他 | 25,353 | 19,319 |
| 営業外収益合計 | 170,276 | 193,389 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,991 | 12,012 |
| 売上割引 | 6,452 | 6,173 |
| 貸倒引当金繰入額 | 4,736 | 20,996 |
| その他 | 2,890 | 8,324 |
| 営業外費用合計 | 25,070 | 47,507 |
| 経常利益 | 805,791 | 517,219 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社清算益 | — | 23,705 |
| 特別利益合計 | — | 23,705 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 805,791 | 540,924 |
| 法人税等 | 276,471 | 203,779 |
| 四半期純利益 | 529,320 | 337,145 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 9 | 30 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 529,310 | 337,115 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 529,320 | 337,145 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 111,102 | 494,043 |
| 繰延ヘッジ損益 | △89,202 | △39,265 |
| 為替換算調整勘定 | △6,297 | △707 |
| 退職給付に係る調整額 | 22,074 | 15,991 |
| その他の包括利益合計 | 37,676 | 470,061 |
| 四半期包括利益 | 566,997 | 807,207 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 566,989 | 807,171 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 7 | 36 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。